



飛び出しはしません！ —保育所で交通安全教室開催—

6月26日(火)に志賀保育所(岩橋かをる所長)で、内原保育所(田村真由美所長)、比井保育所(川端雅子所長)と合同となる交通安全教室が開催されました。

教室では和歌山県警察本部から安全教育係(通称：ひまわり隊)に来てもらい、歩道の右側を歩くこと、道に飛び出さないことなどを、歌や踊り、人形劇を交えて勉強。

園児たちはしっかりと話を聞き、交通ルールを守ることを約束しました。



不戦の誓い新たに ―日高町戦没者追悼法要―

6月27日(水)、町中央公民館において、町社会福祉協議会主催による日高町戦没者追悼法要が執り行われました。
法要には、遺族関係者を始め、松本町長、清水町議会議長らが、戦没者400余柱の冥福を祈るため参列。

町社会福祉協議会の寺井陽子会長が「多くの方々が国難に殉じ、また、ご遺族の方々が、多くの苦しみに耐え国を発展させてきたことに深く感謝し、世界中で戦争が無くなることを願っています。日高町の発展と安寧をどうか見守ってください。」と追悼の言葉を述べられると、松本町長も「国や家族のために散華された皆様に深く哀悼の意を表します。戦争を次の世代に語り継ぎ、安全、安心に暮らせる社会を作るために、これからも尽力していきます」と、戦没者、遺族の方々への感謝と誓いを述べました。



緊急時に子どもたちの身を守るため、町内の学童保育所で訓練が実施されました。

救命訓練では、日高広域消防本部から講師を招いて、指導員15人が心臓マッサージやAEDの使用方を勉強。子どもの場合は、人工呼吸が重要だということを教わりました。

また、避難訓練では、巨大地震が来て津波警報が発令された想定で訓練を実施。児童らは机の下や落下物の無いところで頭を守り、揺れがおさまるのを待ってから高台へ避難しました。

来るべき災害に備えて、訓練は今後も定期的に行われる予定です。

もしもの時に備えて ―学童保育所で訓練実施―

